

生活者に必要なときに必要な情報を届けて 便利な「みや暮らし」を実現しよう

宇都宮共和大学 高丸ゼミ (○新田勇斗, 山口絵都, 半田菜月, 河野弘暉, 奈良あさひ)

【行政の悩み】

情報のミスマッチはお互いにとって大きな損失

【市民の悩み】

広報にイベント情報を載せているのに
なんで人が集まらないのかな？

せっかく良い感じの取り組みをしているのに
なぜか市民からの反応が薄い



こんな面白いイベントやってたんだ？
行きたかったなー。

そんな制度あったの？
全然知らなくて損しちゃった...

私たちらしい これからの『みや暮らし』 ➡ 「情報を無駄にしない」暮らし

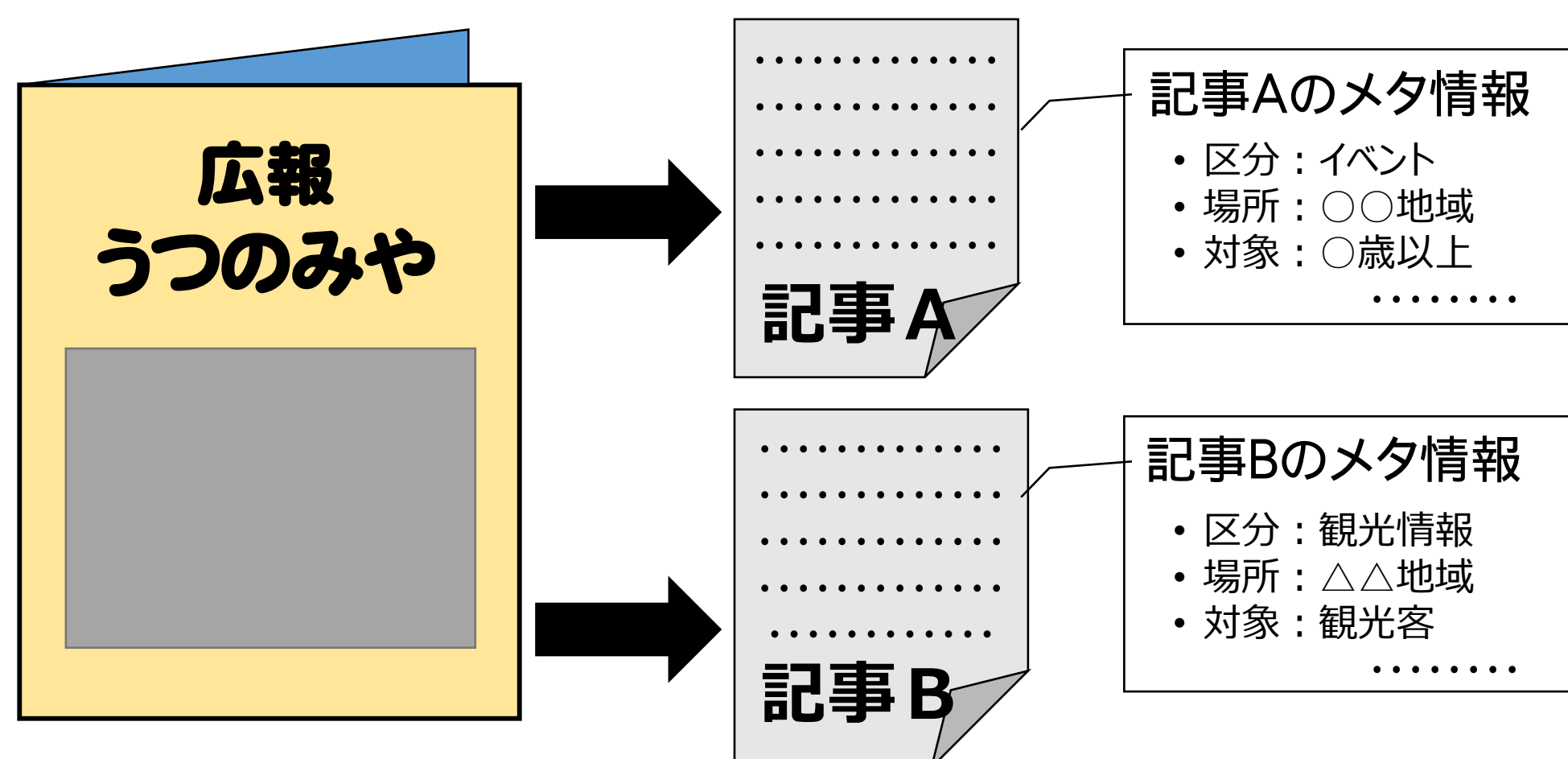
現状と課題

- 「広報うつのみや」を知らない・見ない人も多くいる
- ホームページでもアプリでも情報に対して消極的な人に情報を届けることはできない
- 必要な人に必要な情報**が届けば、**暮らしは便利**になる

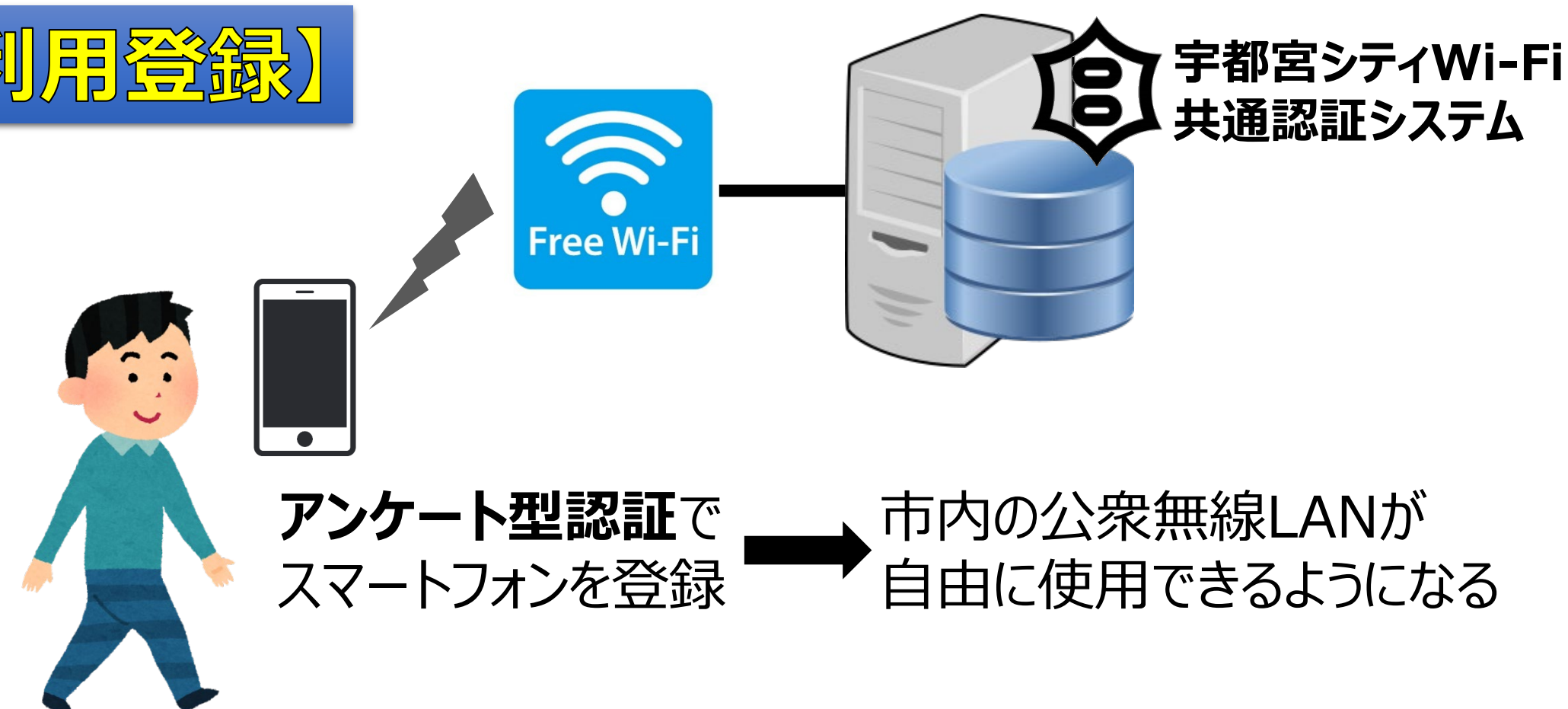
提案のポイント

- 公衆無線LANでスマホに情報を届ける**
- 利用者別に「そのとき」「その場所で」必要な情報を届ける**
- 何もしなくても必要な情報が自動的に届く**

データの整備 記事のテキスト化とメタ情報の付与



【利用登録】

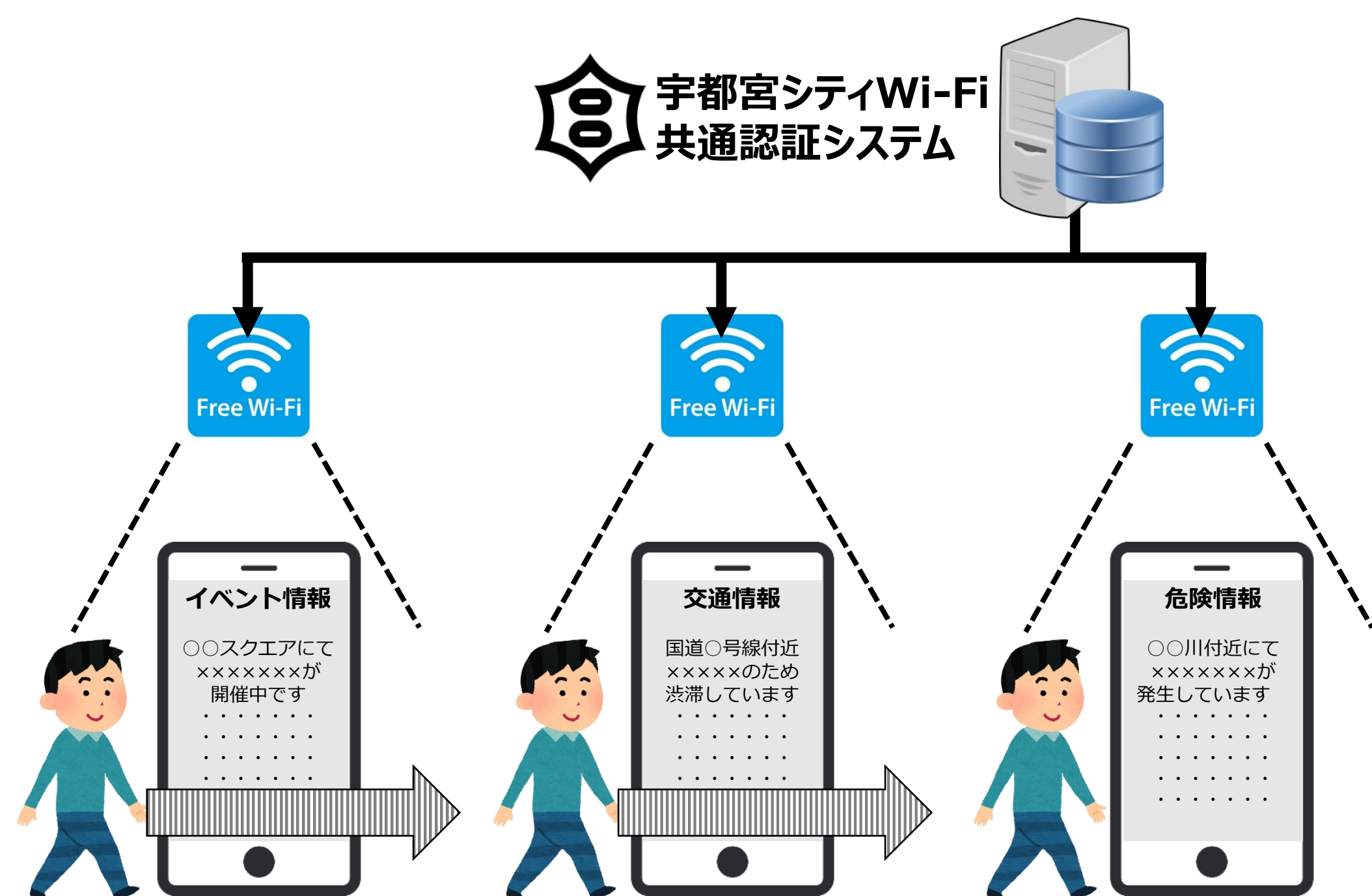


ソフト面の整備 「記事」と「利用者」のマッチングアルゴリズム

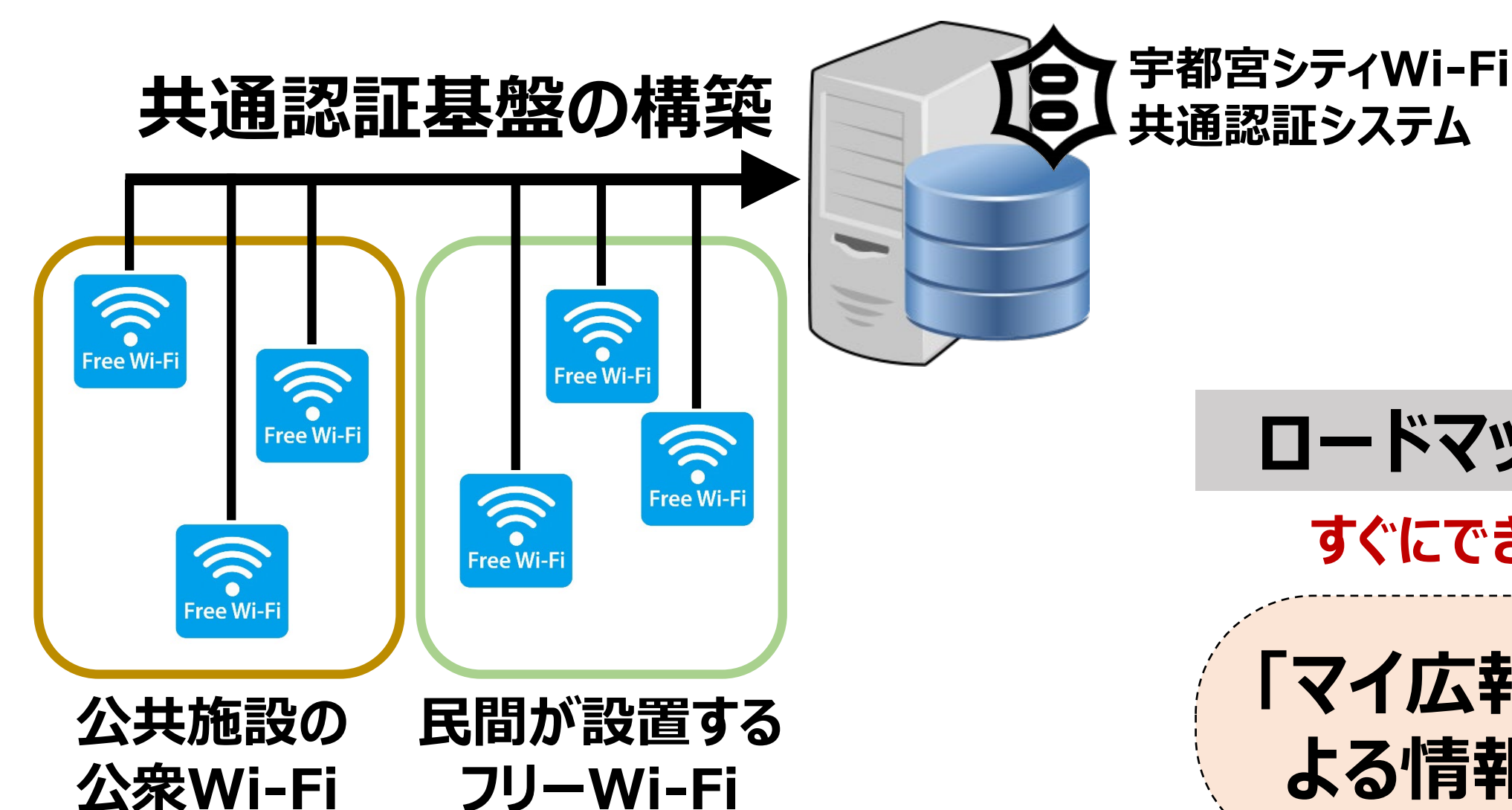


【無線LAN利用による情報配信時】

- 公衆無線LANアクセスポイント内に入る
- ① 認証されスマホのWi-Fiが使えるようになる
 - ② そのときにその人がその場所で必要な情報が送信される



ハード面の整備 市内の公共/民間の無線LANの一括認証



ロードマップ

すぐにできること → 実証実験 → 完成形

「マイ広報紙」による情報提供

マッチングした情報を提供するスマホアプリ

無線LANによる情報の自動提供の実現